

講義コード	515102203	
講義名	乳児保育I EF	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	前期	
基準単位数	2	
時間	0.00	
代表曜日	水曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教科に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・2年	
必須/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤教員	野中 悦子	女子短期大学部
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

授業の概要

これまでの乳児保育の歴史的変遷及び、担ってきた役割を踏まえたうえで、多様化社会におけるこれからの乳児保育のあり方について学び、理解し、実践へと繋げていきます。乳児の特徴を理解して、適切な保育の方法を習得することをねらいとし、実習による体験学習や、視聴覚教材等を活用して、0,1,2歳児の具体的な姿をイメージしながら、基礎的な理論を学修します。

授業の到達目標及びテーマ

- 1.乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。
- 2.保育所、乳児院等多様な保育現場における乳児保育の現状と課題について理解する。
- 3.3歳未満児の発育・発達を理解したうえで、知識を実践に結び付けることが出来る。
- 4.乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容
第1回	野中 悦子 2017年の保育所保育指針の改定では、乳児・1歳以上3歳未満児の保育の記載が充実されました。なぜ乳児保育が大切なのかを、歴史的変遷を踏まえながら考えてみましょう。	乳児保育の意義と役割（歴史的変遷を踏まえて）	家族形態の変化と多様化 出生児数の減少 社会環境の変化 育児不安 乳児保育を行う際の環境の設定と保育者の関わり。
第2回	野中 悦子 乳児保育を行う施設はどんなところ	多様な保育施設の現状	保育所、乳児院、小規模保育施設等の多様な保育施設の現状と課題 多様なニーズに合わせた保育サー

	ろがあるのでしょうか。		ビスの実際
第3回	野中 悦子 自分が生まれた時のことを覚えて いますか？	乳児の発達と保育 (6か月未満児)	誕生時の身体的特徴 原始反射 新 生児微笑 感情の分化と認知機能 の発達
第4回	野中 悦子 赤ちゃんは泣きます。泣くことの 意味について考えます。	乳児の発達と保育 (6か月か ら1歳3か月未満 児)	身体機能と運動 首のすわりから つかまり立ちまで 泣くことの意 味 手の動きが成長を伝える
第5回	野中 悦子 言葉の獲得の仕組みが分かったら、 言葉が早い、遅いのこだわりが消 えて、赤ちゃんが天才に見えてき ます。	乳児の発達と保育 (1歳3か月か ら2歳未満児)	言葉を獲得するしくみ 言葉から 心の声を聞く 身体機能と運動 歩 行開始から繋がる探索行動の意味 と遊びの援助
第6回	野中 悦子 2歳児をイメージしてみよう！ 発達を知れば、関わり方が見えて きます。	乳児の発達と保育 (2歳児)	身体機能と運動 活発な全身運動 生活面及び排泄の自立 事故予防 と対策 保育計画・評価の意義
第7回	野中 悦子 対人関係は発達の基礎です。 対人関係としての母と子の絆につ いて学びます。	乳児の行動と保育 (愛着と信頼～ア タッチメントの成 り立ち)	アタッチメント理論 関係性の発 達 分離固体化理論 見えない母親 像の確立 コミュニケーションの 基礎
第8回	野中 悦子 大切にされた子が、人も大切にす る子になります。 心の土台は自己肯定感です。	乳児の行動と保育 (愛着と信頼～自 己肯定感を育む)	自尊感情と自己肯定感 甘えと甘 やかし 子どもの安心できる保育 の場の創出
第9回	野中 悦子 赤ちゃんがどうやって食べる機能 を獲得していくのか、実際に食べ 物を食べて咀嚼や嚥下を体感して みましょう。	乳児の生活と保育 (栄養の特徴)	母乳栄養のメリット 哺乳行動 食 べる機能の発達(実習) 咀嚼と嚥 下
第10回	野中 悦子 何を、どのように食べるかの視点 で離乳食を捉えていきます。	乳児の生活と保育 (人工栄養と離乳 食)	人工栄養の特徴 離乳期の発達段 階と食事の形態 授乳・離乳の支 援ガイドにそった離乳食
第11回	野中 悦子 遊びは学びです。 環境の設定や保育者の関わりや援 助について考えます。	乳児の生活と保育 (遊びの特徴)	遊びの意味 遊びを通して得る生 きる力の基礎 経験の連続性と協 同 保育者の役割 職員間の連携・ 協働
第12回	野中 悦子 おもちゃは、赤ちゃん和大人との 心を結びつける媒介物です。 実際に触れて遊んでみましょう。	乳児の生活と保育 (玩具の選び方)	発達に即したおもちゃ 衛生管理 と安全管理
第13回	野中 悦子 赤ちゃんの睡眠には特徴がありま す。 睡眠と発達について学習します。	乳児の生活と保育 (生活リズム)	睡眠の特徴 睡眠と発達の関係 現 代社会における子供たちの生活リ ズムの実際 保護者との連携・協 働、子育て支援
第14回	野中 悦子 良い睡眠環境とは何かを考えま す。	乳児の生活と保育 (睡眠環境、衣 類)	睡眠環境の設定の実際 乳幼児突 然死症候群 睡眠時の安全管理と 危機管理 衣類の選び方
第15回	野中 悦子 排泄の自立とは？本来の意味での 自立を考えます。 感染症に対する予防対策について 清潔の観点から学習します。	乳児の生活と保育 (排泄、清潔)・ まとめ	おむつ交換のねらい トイレット トレーニング 清潔の重要性と介 助の仕方及び留意点 各連携機関との連携・協働 これ からの乳児保育に求めるもの

授業時間外の学修

各回の授業に臨むにあたり、授業計画について示した授業内容について、事前配布する資料の該当箇所を読んだり、調べ学習などで予習しておくこと。また、実習や日常での交流観察を通して、乳児の行動特徴への関心をもち、実践的に学びを深めること。
毎回の、予習・復習時間の目安は週3～5時間程度です。

実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

ディプロマポリシーとの関連

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
○	◎	◎	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ90%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ70%程度であることが認められる	授業内容の理解は60%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
表現力	授業内容を100%理解しており、乳児保育において実情に応じた臨機応変な対応が出来、表現力がより豊かに身に付いていることが認められる	授業内容をほぼ90%程度理解しており、乳児保育に関する必要な表現力が身に付いていることが認められる	授業内容を70%程度理解しており、乳児保育に関する必要な表現力がやや身に付いていることが認められる	授業内容の理解は60%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている
保育者としての準備状況	授業内容を100%理解しており、保育者として実情に応じた臨機応変な対応が出来、十分に準備が整っていることが認められる	授業内容を90%程度理解しており、保育者としての準備が整っていることが認められる	授業内容を70%程度理解しており、保育者としての準備がやや整っていることが認められる	授業内容の理解は60%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験		

小テスト等	30%	授業内容の理解度
成果発表		
授業への貢献度		
レポート	50%	テーマについて、授業内容を踏まえながら自身の考えをまとめる
その他	20%	授業への取り組み方

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する	その都度解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

クリッカー、アンケート、小テスト等 メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート (議論の場と時間) 小テストや授業内レポートの活用	実験観察・実習	授業後レポート

教科書

教科書は指定しないが、適宜該当する資料を提示し授業を進める。

参考書

乳児保育第10版（南山堂）石原栄子他 2009
0歳の赤ちゃんの気持ちがわかる本（講談社）小西行郎
0～3歳能力を育てる 好奇心を育てる（主婦の友社）汐見稔幸

SDGsとの関連

3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに

学生へのメッセージ

赤ちゃんは、やわらかくて、あたたかくて、ミルクのにおいがして...
見ているだけでも幸せな気持ちになります。
でも、赤ちゃんはかわいいだけではなくて、さまざまな力を持っています。
そんな赤ちゃんの魅力を伝えられたらと思っています。

研究室（訪問先等）

ゆうゆう保育園

電話番号

028 - 674-8500

授業用E-mail

etsuko_nonaka@sakushin-u.ac.jp
--